

Revit の寸法が AutoCAD の寸法に書き出されるときのマッピングの動作

Revit の寸法パラメータ	DWG 寸法スタイル プロパティにマッピング	コメント
平行寸法	回転寸法	
長さ寸法	回転寸法	
角度寸法	3 点角度寸法	
半径寸法	半径寸法	
弧長寸法	弧長寸法	
指定点高さ	パラメータはマップされません	指定点高さ寸法は、線分、文字列などの基本図形として書き出されます。
指定点座標	パラメータはマップされません	指定点座標寸法は、線分、文字列などの基本図形として書き出されます。
指定点勾配	パラメータはマップされません	指定点勾配寸法は、線分、文字列などの基本図形として書き出されます。
寸法値	文字スタイル	一意の文字スタイルが作成されます。
-	異尺度対応	Revit から書き出された寸法の異尺度対応プロパティは、AutoCAD では[いいえ]と設定されます。
-	自動調整	Revit から書き出された寸法の自動調整プロパティは、AutoCAD では[いいえ]と設定されます。
グラフィックス		
寸法文字列タイプ - 実線	回転寸法	
寸法文字列タイプ - 並列寸法	回転寸法	
寸法文字列タイプ - 座標寸法	回転寸法	
条数	1 番目と 2 番目の矢印	
o なし	o なし	
o 矢印 30 度	o 開く 30	
o 矢印塗り潰し 15 度	o 塗り潰し矢印	

Revit の寸法パラメータ	DWG 寸法スタイル プロパティにマッピング	コメント
o 矢印塗り潰し 20 度	o 塗り潰し矢印	
o 矢印塗り潰し 30 度	o 塗り潰し矢印	
o 塗り潰し四角 3/32''	o 塗り潰し四角	
o 斜線 1/8''	o 斜め	
o 斜線 3/64''	o 斜め	
o 黒丸 1/16''	o 小黒丸	
o 黒丸 1/8''	o 小黒丸	
o 白丸 1/16''	o 空白丸	
o 塗り潰し立面对象 3/16''	o 塗り潰し矢印	表示の正確性を保持するため、Revit は一時的なグラフィックスとして条数を書き出します。塗り潰し矢印が寸法スタイルに割り当てられています。
o 太先 1/8''	o 塗り潰し矢印	表示の正確性を保持するため、Revit は一時的なグラフィックスとして条数を書き出します。塗り潰し矢印が寸法スタイルに割り当てられています。
o 塗り潰し三角 3/32''	o 塗り潰しデータム	
線の太さ	線の太さ	
条数線の太さ	パラメータはマップされません	
寸法線延長	寸法線延長長さ	
フリップされた寸法線延長	パラメータはマップされません	
寸法補助線コントロール	固定長の寸法補助線	
寸法補助線の長さ	固定長の寸法補助 > 長さ	
要素に対する寸法補助線のギャップ	起点からのオフセット	
寸法補助線の延長	補助線延長長さ	
中心線記号	パラメータはマップされません	表示の正確性を保持するため、Revit は個別のブロックとして中心線の記号を書き出します。
中心線のパターン	寸法補助線 > 線種	
中心線条数	矢印	
内部条数	矢印 > 2 番目	

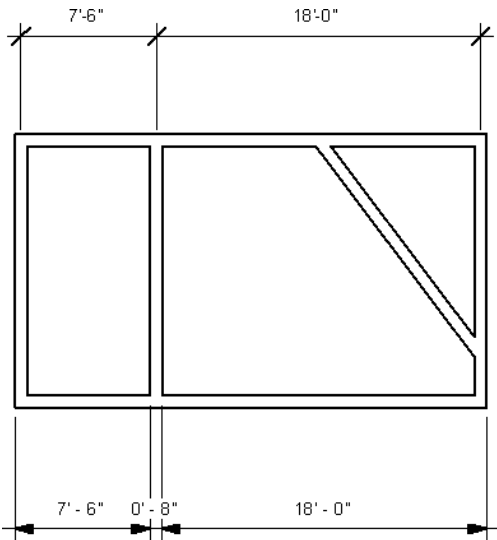
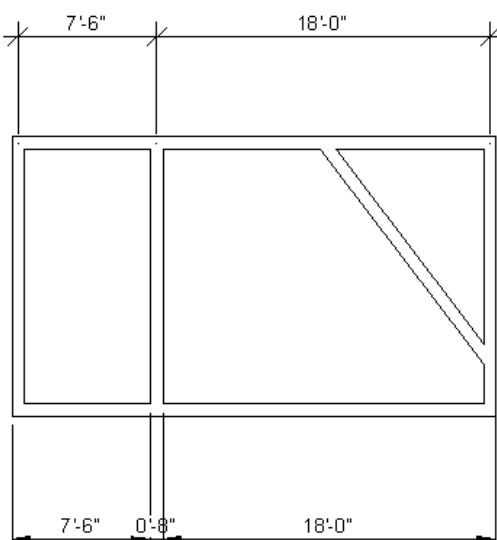
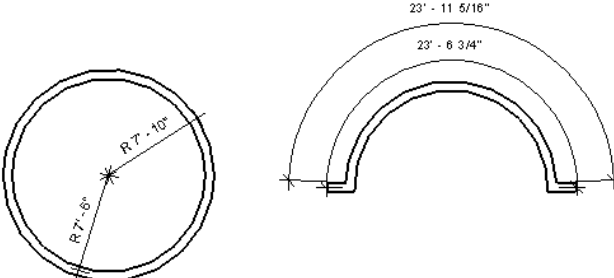
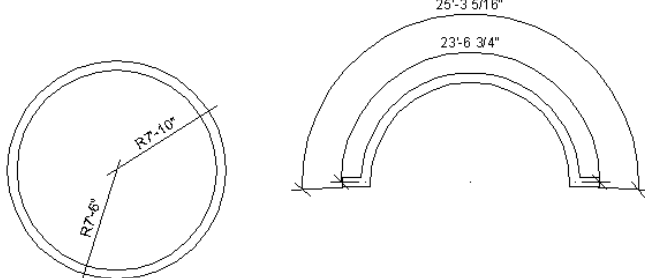
Revit の寸法パラメータ	DWG 寸法スタイル プロパティにマッピング	コメント
座標寸法設定		
文字の向き	[寸法線に平行]と[寸法補助線に平行]をサポート	
[基準点の表示/非表示]設定: a) なし b) 寸法補助線のみ c) 寸法補助線と文字	a) 寸法を書き出しません。 b) 寸法線または寸法補助線を省略して、矢印のスタイルを[なし]に設定し、文字を書き出しません。 c) 寸法線または寸法補助線を省略して、矢印のスタイルを[なし]に設定し、文字を書き出します。	
寸法線種	寸法線 > 省略	
文字の位置	水平文字位置	
基準点条数	矢印 > 最初と矢印サイズ	
セグメントの長さ	パラメータはマップされません	
色	パラメータはマップされません	寸法要素のタイプ プロパティに設定された色は DWG に書き出されません。画層テーブルまたは[オブジェクトスタイル]ダイアログで指定された色が使用されます。
寸法線のスナップ間隔	パラメータはマップされません	
文字		
幅係数	文字スタイルへの設定	
下線	寸法値のオーバーライドとして書き出し	
標準	フォント スタイルへの設定	
斜体	フォント スタイルへの設定	
太字	フォント スタイルへの設定	
文字サイズ	文字スタイルへの設定	
文字オフセット	寸法線からのオフセット	
規則を読み込む	文字表示方向/文字内側位置合わせ	
文字フォント	文字スタイルへの設定	
文字の背景	塗り潰し色	

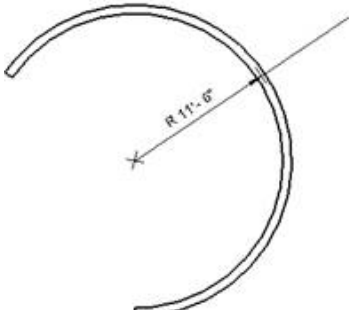
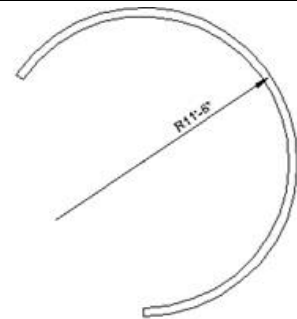
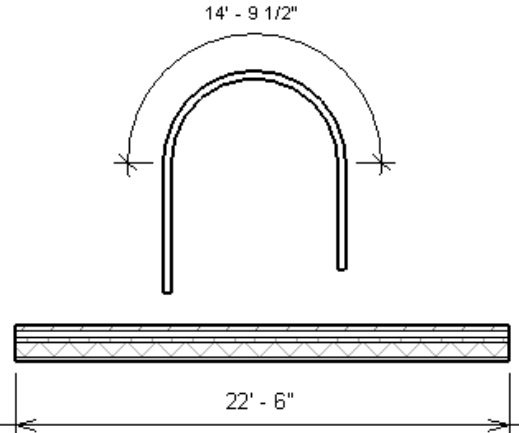
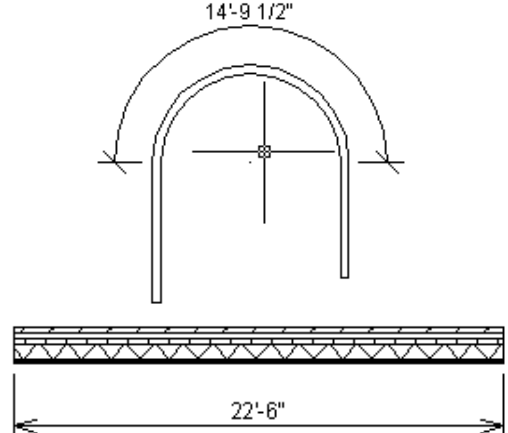
Revit の寸法パラメータ	DWG 寸法スタイル プロパティにマッピング	コメント
単位形式		
単位	基本単位 > 単位形式 基本単位 > 尺度	Revit の寸法はプロジェクトの単位設定を使用することも、オーバーライドすることもできます。データの正確性を維持するために、[尺度]は書き出される DWG ファイルの寸法単位をシミュレーションするために使われます[寸法単位 = 寸法単位 / 尺度]。
丸め	基本単位 > 精度	
丸めの増分	基本単位 > 精度 基本単位 > 切り捨て	角度寸法の場合: カスタムの丸めを使用すると、切り捨て値ではなく、精度のみが DWG ファイルに書き出されます。
単位記号	基本寸法オブジェクトに寸法の末尾表記として単位記号が追加されます	
末尾 0 を省略	基本単位 > 末尾	
ゼロ フィートを省略	基本単位 > 0 フィート	Revit でチェックボックスが淡色表示されている場合、DWG ファイルでも淡色表示されますが、選択はされています。
正の値に + を記入	基本寸法の接頭表記として適用	
桁区切りを使用	パラメータはマップされません	
スペースを省略	パラメータはマップされません	正確性を保持するために、スペースが一時的に表示されます。これらは、寸法が再生成されると削除されます。
変換単位: a) なし b) 右 c) 下	a) 変換単位チェック ボックスをオフにする b) 変換単位チェック ボックスが選択されている、 [基本単位の後]ラジオ ボタンが選択されている c) 変換単位チェック ボックスが選択されている、 [基本単位の下]ラジオ ボタンが選択されている	[変換単位の位置]を[下]に設定し、[読み込み規則]を[水平]に設定すると、寸法が再生成されるときに変換単位が変更されます。
変換単位形式		
単位	変換単位 > 単位形式 変換単位 > 変換単位の乗数	
丸め	変換単位 > 精度	

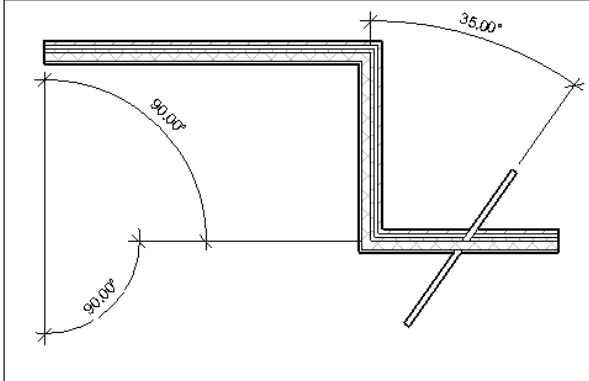
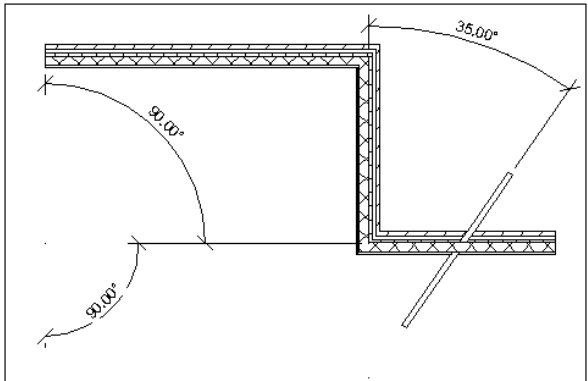
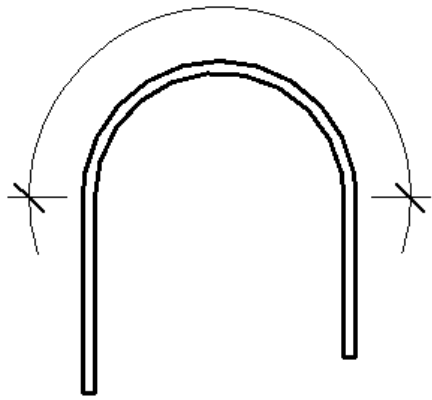
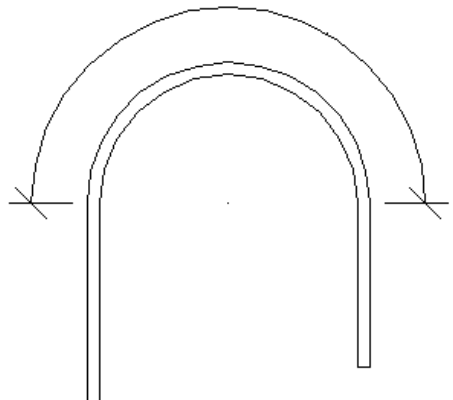
Revit の寸法パラメータ	DWG 寸法スタイル プロパティにマッピング	コメント
丸めの増分	変換単位 > 精度 変換単位 > 切り捨て	
単位記号	変換単位に寸法の末尾表記として単位記号が追加されます	
末尾 0 を省略	変換単位 > 末尾	
ゼロ フィートを省略	変換単位 > 0 フィート	Revit でチェックボックスが淡色表示されている場合、DWG ファイルでも淡色表示されますが、選択はされています。
正の値に + を記入	変換寸法の接頭表記として適用	
桁区切りを使用	パラメータはマップされません	
スペースを省略	パラメータはマップされません	正確性を保持するために、スペースが一時的に表示されます。これらは、寸法が再生成されると削除されます。
変換単位の接頭表記	変換単位 > 接頭表記	
変換単位の末尾表記	変換単位 > 末尾表記	
開口部の高さを表示	寸法値のオーバーライドとして書き出し	
その他		
中心マーク	パラメータはマップされません	
中心マークのサイズ	パラメータはマップされません	
半径接頭表記	パラメータはマップされません	

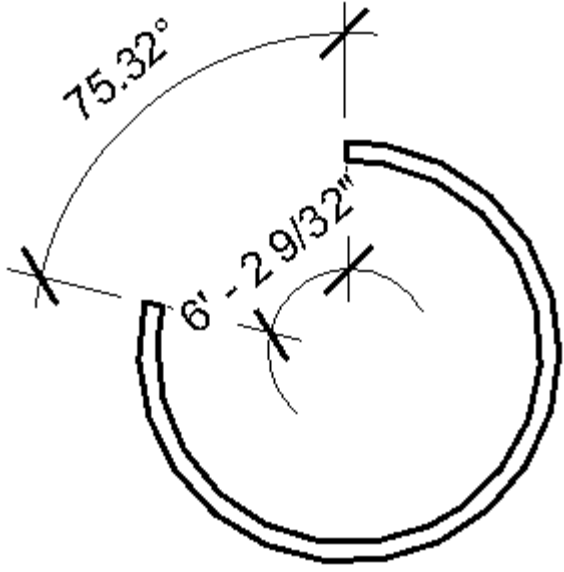
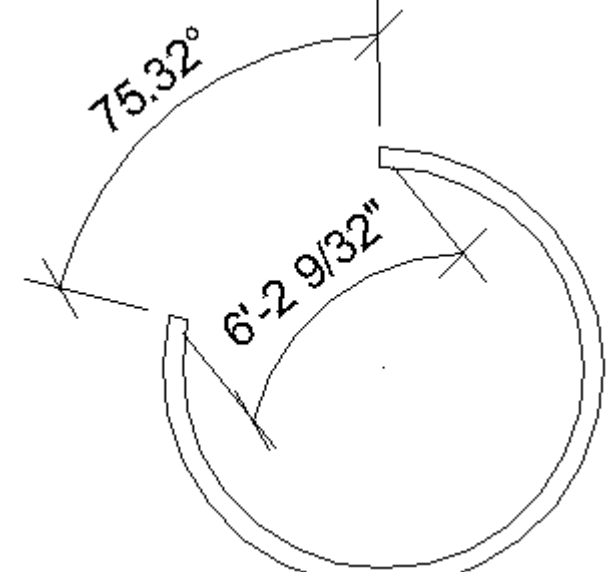
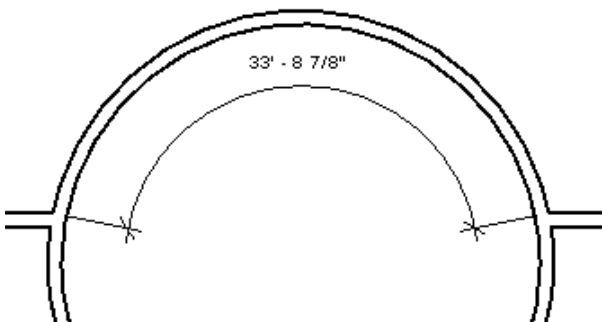
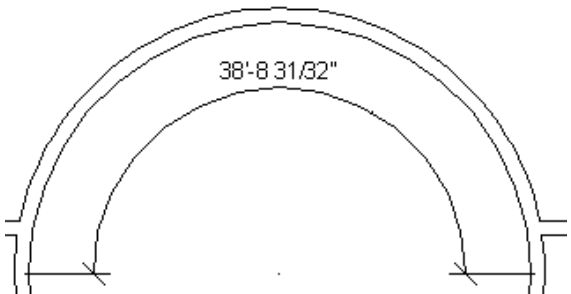
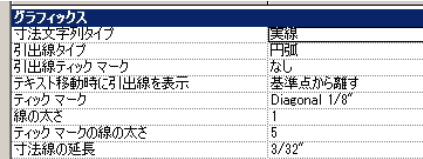
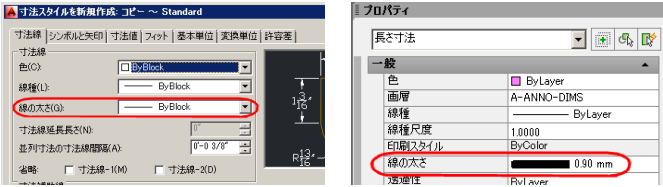
Revit の寸法が DWG 形式に書き出されたときの既知の動作

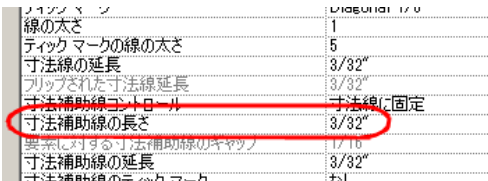
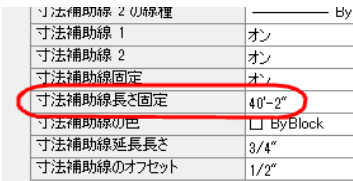
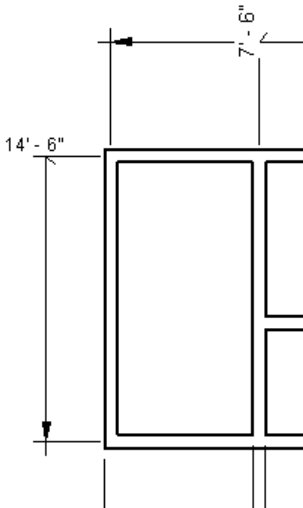
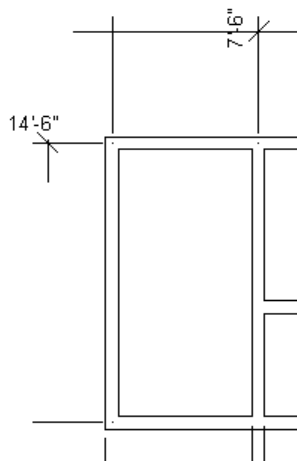
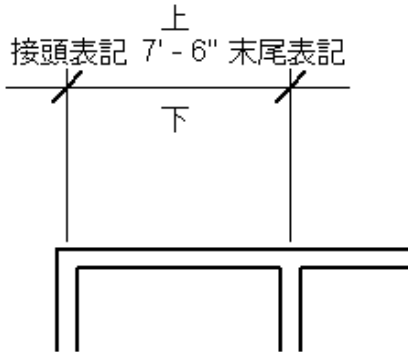
Revit では常に適切な DWG 寸法スタイル プロパティに、Revit の寸法パラメータをマップしようとします。しかし、マップできないパラメータが存在することがあります。その時点で、Revit は表示の正確性を保持するために、寸法を書き出します。正確性の表示は一時的な表示であり、寸法が再生成されるとすぐに、そのプロパティは寸法スタイルから読み込まれ、表示が変更されます。発生する可能性のある既知の事例を次に示します。

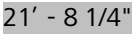
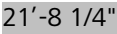
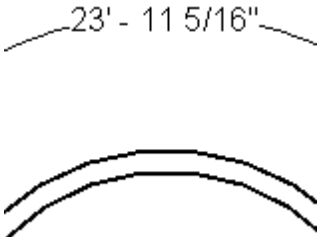
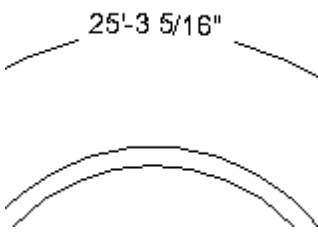
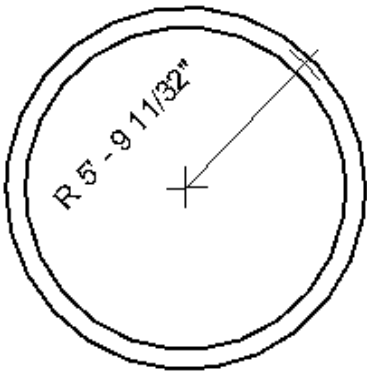
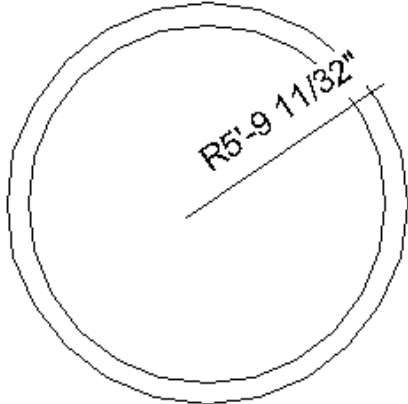
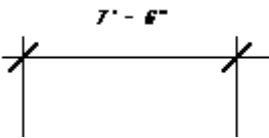
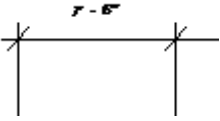
事例	Revit での表示	AutoCAD での表示
寸法線延長 条数が[なし]と[斜線]以外に設定されている寸法の寸法補助線の表示は変更されます。		
寸法補助線 半径寸法と弧長寸法の寸法補助線の表示は変更されます。		

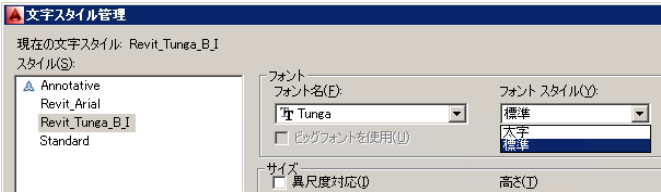
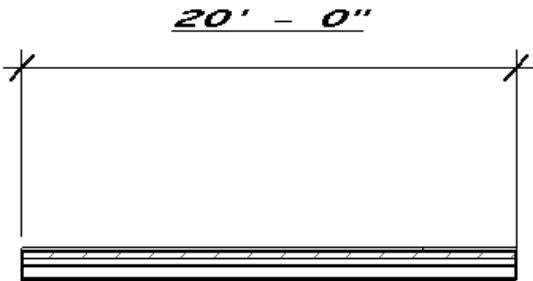
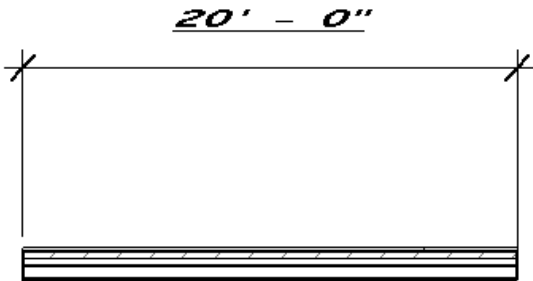
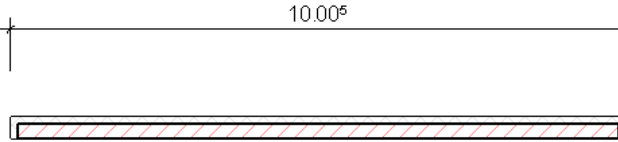
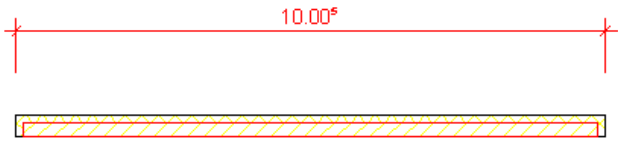
事例	Revit での表示	AutoCAD での表示
寸法補助線/中心マーク 半径寸法の寸法補助線と中心マークの表示は変更されます。		
延長された寸法線延長 [矢印なし]または[斜め]以外の条数が指定された場合、延長された寸法線延長の表示は変更されます。		

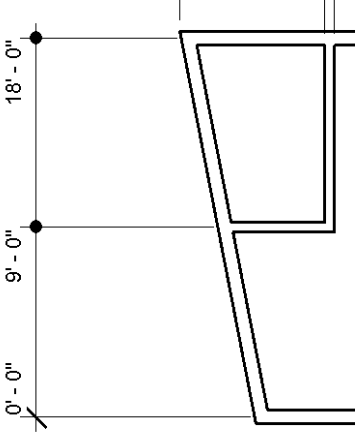
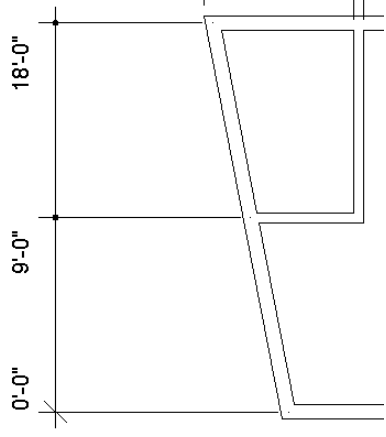
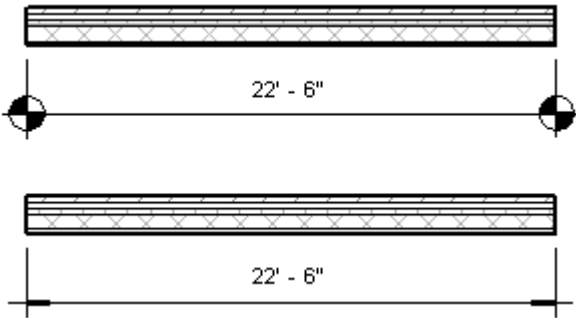
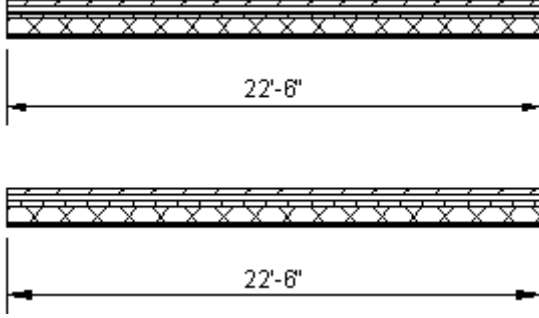
事例	Revit での表示	AutoCAD での表示
寸法補助線 角度寸法の寸法補助線の表示が変更されます。	角度寸法 	角度寸法 
弧長寸法 弧長寸法の寸法補助線の表示が変更されます。	14' - 9 1/2" 	14'-9 1/2" 

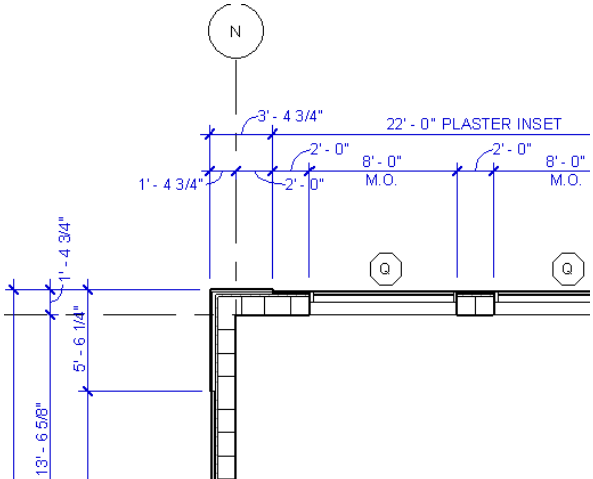
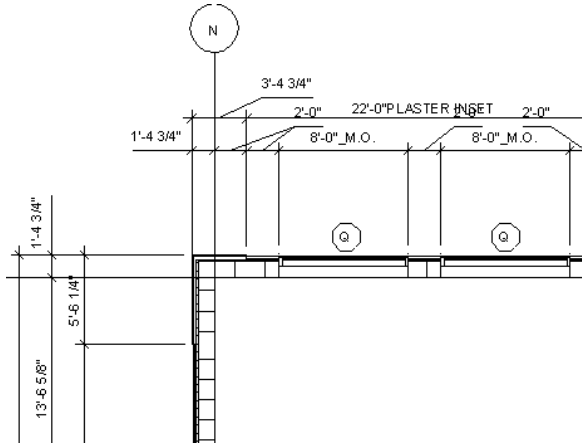
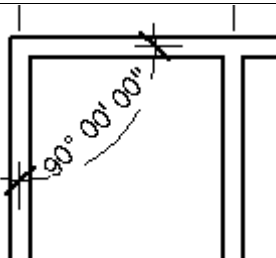
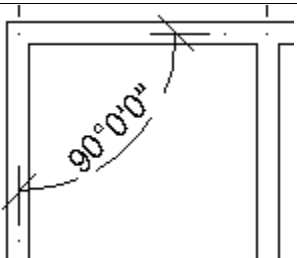
事例	Revit での表示	AutoCAD での表示
弧長寸法 中心を通る寸法補助線の表示が変更されます。		
弧長寸法 円弧の長さ寸法の表示と寸法が変更されます。		
線の太さ [線の太さ]のパラメータ値は AutoCAD の[線の太さ]の寸法スタイル プロパティにマップされませんが、オブジェクト自体に設定されます。		

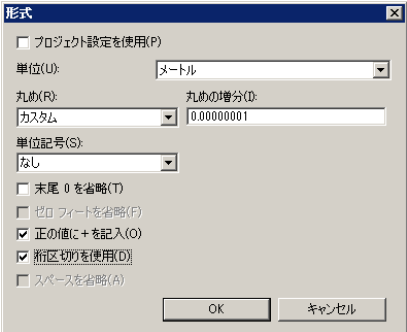
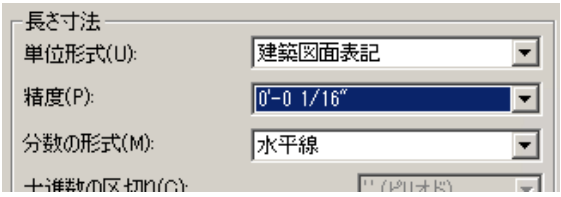
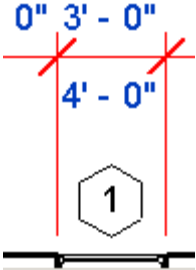
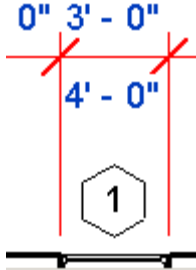
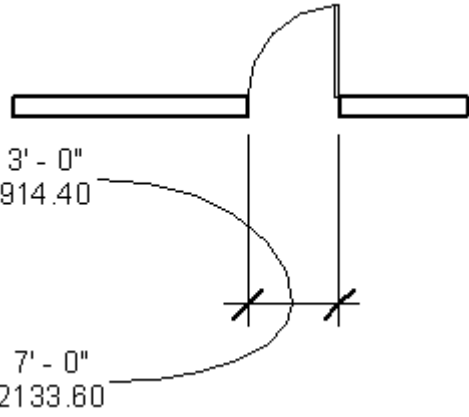
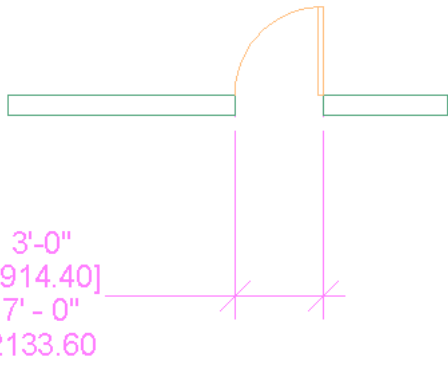
事例	Revit での表示	AutoCAD での表示
寸法補助線の長さ [寸法補助線の長さ]の値は[寸法補助線固定の長さ]にマップされず、寸法補助線の長さはビューの尺度により変わります。		
座標寸法設定 Revit で寸法線種が[セグメント]に設定されると寸法の表示が変更されます。 [文字の位置]が[寸法補助線の横]に設定され、[寸法線種]が[セグメント]に設定される場合、DWG ファイルの寸法が再生成されるときに、基準点の条数が削除されます。		
寸法値 [上]と[下]に指定された文字は、文字のオーバーライドとして書き出されます。 [接頭表記]と[末尾表記]に指定された文字は、AutoCAD の[プロパティ]ダイアログで、[寸法接頭表記]と[寸法末尾表記]のフィールドにマッピングされます。		

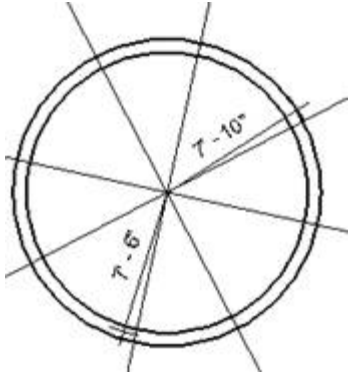
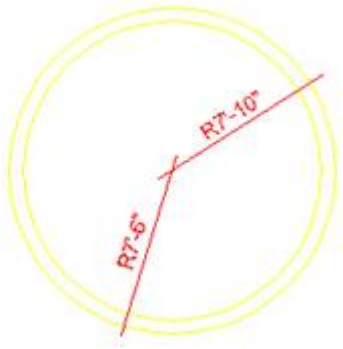
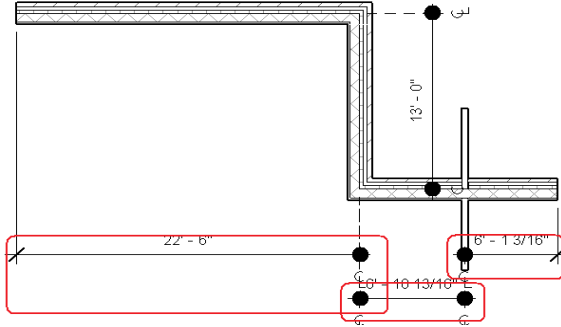
事例	Revit での表示	AutoCAD での表示
寸法値 寸法値の間隔は、Revit ファイルと DWG ファイル内で異なります。Revit の寸法値には空白が含まれていますが、AutoCAD では空白が削除されます。これにより書き出し時に予期しない結果が発生することがあります。たとえば、[文字幅]係数が指定されている寸法が変更されます。		
文字の場所 Revit で寸法値を移動した場合、DWG ファイルの寸法が再生成されるときに、書き出される DWG ファイルの寸法値の位置がわずかに変わります。		
半径寸法値 Revit で半径寸法の寸法値を移動した場合、寸法が再生成されるときに、DWG ファイルの寸法値の位置が変わります。		
太字/斜体 フォントスタイルで太字や斜体がサポートされない場合、Revit の寸法値の太字または		

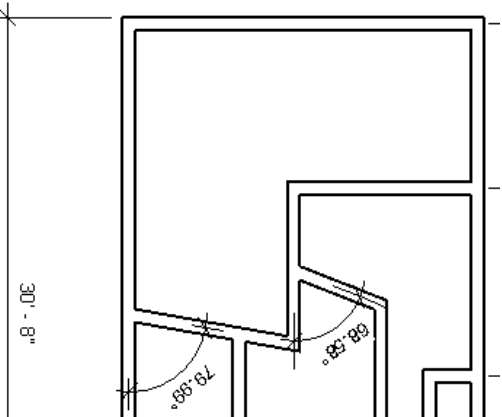
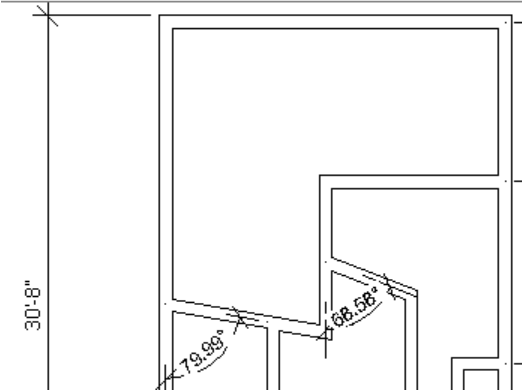
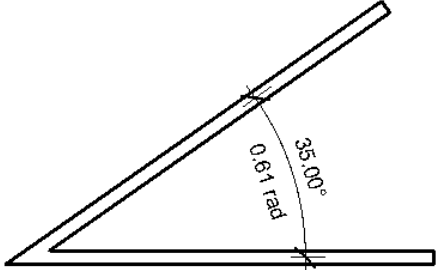
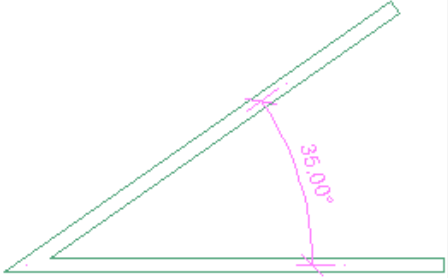
事例	Revit での表示	AutoCAD での表示
斜体の設定は、DWG の寸法スタイルの太字や斜体にマップされません。ただし、書き出される文字は、AutoCAD では太字や斜体で表示されます。		
下線付きの寸法 下線の付いた寸法は寸法値オーバーライドとして書き出されます。		
上付き文字 Revit では、上付き文字は寸法値オーバーライドとして書き出されます。ただし、寸法値はオーバーライドとして書き出されるため、DWG の書き出し中に指定する単位に変換されません。10.00⁵ を常に読み込みます。		

事例	Revit での表示	AutoCAD での表示
条数 DWGの単一寸法セグメントには、複数の矢印サイズを指定できません。したがって、DWG ファイルの寸法が再生成された後に矢印のサイズが変わる場合があります。		
塗り潰し立面/太先 寸法条数の[塗り潰し立面]と[太先]は、DWG ファイルで寸法が再生成された後で[塗り潰し]矢印として表示されます。		

事例	Revit での表示	AutoCAD での表示
寸法スプライン引出線 DWG ファイルで寸法が再生成されると、スプライン寸法引出線は直線引出線に変更されます。結果として、文字の位置が変更されたり、その他の寸法値と重なる場合があります。		
単位形式 Revit 寸法スタイルでプロジェクト単位設定をオーバーライドして、DWG に書き出すと、オーバーライドされた寸法の新しい寸法スタイルが作成されます。		
単位形式 角度寸法で[度分秒]を単位として設定すると、DWG の寸法が再生成された後の DWG ファイルでは同じ量の丸めが単位に表示されません。		

事例	Revit での表示	AutoCAD での表示
カスタム丸めの増分 [カスタム丸めの増分]で 1.0E-8 より大きい数値を指定すると、書き出された DWG ファイルで丸めの増分は 0 丸め増分として扱われます。		
開口部の高さを表示 [開口部の幅]は寸法として書き出されますが、[開口部の高さ]は寸法値のオーバーライドとして書き出されます。		
開口部の高さを表示 Revit のスプライン引出線で寸法記入された開口部を DWG に書き出すと、寸法が再生成されるときに寸法の位置が変わります。		

事例	Revit での表示	AutoCAD での表示
中心マークのサイズおよび半径接頭表記 [中心マークのサイズ]および[半径接頭表記]の設定は、寸法が DWG ファイルで再生成されると引き継がれません。		
中心記号パターンおよび条数 寸法セグメントで条数、補助線、寸法ペン幅寸法が異なっている場合、書き出された DWG ファイルに新しい寸法スタイルが作成されます。		
条数 DWG ファイルでは、塗り潰し丸寸法の条数のサイズは変わります。		

事例	Revit での表示	AutoCAD での表示
シート上のビュー DWG・ファイルで寸法が再生成されると、シート上に配置された回転ビューの読み込み規則が、書き出された DWG ファイルで正しくなくなる場合があります。	 A technical drawing in Revit showing a mechanical assembly. It includes a vertical dimension of 30'-8" and two angular dimensions: 79.99° and 68.58°.	 The same technical drawing as in Revit, but rendered in AutoCAD. The dimensions 30'-8", 79.99°, and 68.58° are preserved.
角度寸法の変換単位 表示の正確性を保持するために、角度寸法の変換単位は AutoCAD に書き出されますが、寸法が再生成されると、変換単位は表示されなくなります。	 A drawing of an angle in Revit. The angle is 35.00°. The dimension line is labeled with 'rad' and the value '0.611 rad'.	 The same angle drawing as in Revit, but rendered in AutoCAD. The angle is 35.00°, and the unit 'rad' is not displayed.